



414
A 925



對等ノ權利ヲ存シテ相互ニ凌辱侵犯スル
 事ナク共ニ公例互格ヲ以テ禮際ノ態勤ヲ
 通シ貿易ノ利益ヲ交ユ此レ列國條約アル
 所以ニシテ而シテ國ト國ト固ヨリ對等ノ權利
 ヲ有スル事当然ナレハ其條約モ亦對等ノ權
 利ヲ存スヘキハ言ヲ俟サル事ナリ
 故ニ地球上ニ國シテ獨立不羈ノ威柄ヲ備ヘ列
 國ト相聯并公肩シテ日即低平均ノ權カヲ誤

大正十一年四月
東京

1131



ラス能ク交際ノ誼ヲ全シ貿易ノ利ヲ齊一
 ニスルモノ列國公法ヲツテ能ク強弱ノ勢ヲ制
 制シ^象寡ノカヲ抑裁^{天理}人道^義ヲ補
 解スルニ由レリ是以テ國ト國ト對等ノ權利ヲ
 存スルハ乃チ列國公法ノ存スルニ此レ由ルト云ヘ
 シ
 今其國ノ人民其國ヲ愛スルハ亦自然ノ已ムハカラ
 サル處ナリ既ニ其國ヲ愛スルノ誠アル其國事ヲ

憂慮セサルハカラス憂慮既ニ此ニ及フ苟モ之ヲ
 實務上ニ徴シテ我國ニ存スル權利ノ何如ヲ審
 察セサルハカラス^{説ニ}之ヲ審察スルニ於テ果シテ其
 權利我ニ存シテ失ハサルカ或ハ之ヲ他ニ失シテ存
 セサルカ能ク之ヲ認メ得ヘシ之ヲ認メテ我國既
 ニ對等ノ權利ヲ失ヒ他ニ凌辱侵犯セラレ
 例互格ノ道理ヲ得サレハ勉勵奮發シテ
 之ヲ回復シ其凌辱ヲ雪キ侵犯セラレサル道

ヲ講求スル事其國民正ニ務ムヘキ職任ニ
シテ其國民タルノ道理ヲ盡ス事ト云ヒシ而
シテ其凌辱侵犯ヲ受ケサル道ヲ講求スル之
ヲ列國公法ニ照シテ^{其條約}理ニ適スル否ヤヲ
考案セケルヘカラス

夫レ我國海外各邦ト條約ヲ結シ始メ國內
ノ形勢如何ソヤ積世鎖國ノ習俗因結シテ
開港ノ事ヲ拒^リテ^ハ溜^ル皆是レナリ攘夷ノ論

ヲ發スルモノ比々皆然リ此レ旧政府擅權ノ私
断ヲ以テ此ノ全國存亡ニ關係スル一大事件ヲ
明白正大ナル輿論トモ智勇決ナル處置トモ
以テ其事件ヲ了局セス其目的一時ヲ糊塗シ
テ因循歲月ヲ経過スルノ方略ニ出ス其事情
已ヲ得サルノ勢ト雖モ到底官吏ノ懶惰ト姑息
ト^ニ由^リ交際上其當ヲ得サル事夥多ナルノミ
ナラス貿易上モ亦當然ノ理ヲ盡ス能ハサルモ

ノ六ナカラス^加而シテ其間我国内ノ多事
 ニ由リ強弱ノ勢カ棄セラレ彼我權利ノ際限紛
 乱シテ或ハ主客地ヲ換ル事アルニ至リ益スニ上
 当ノ則ヲ失ヒ窮極如何ヲ知ラサルニ至ントセシ
 ニ事^{ヨリ}政體^ノ変革^ヲ始^リ既ニ失ヒシ權利ヲ回復
 シ相凌辱侵犯セラル事ナク比例互格ノ道ヲ盡
 サント欲ス^津國運ノ隆替^{此ノ}一挙ニ係^ル事^也
原キタル在^ル高^キ勢^カヲ伸^トシテ^ハ其^ノ事^ヲナス^ニキ^キ秋^ニ際^セリ。
ト雖モ^ハ其^ノ前^ノ条^約未^タ改^ラス^旧羽^目ノ

弊害未タ除カス^ハ國政府及各國在苗公使^猶東
 洋一種ノ團體政俗ト認メテ別派ノ處置慣手
 ノ談判等ヲナシ^ハ我國律ノ推及ス^{ヘキ}事^モ之ヲ
 彼ニ推及スル能ワス我權利^ニ歸^ル由^スヘキ事^モ之
 之ヲ我ニ歸スル能ワス我規則ニ從^ハシム^{ヘキ}事^モ之
 之ヲ彼ニ從^ハシムル能ワス我税法ニ依^ラシム^{ヘキ}事^モ
 之ヲ彼ニ依^ラシムル能ワス我カ自在ニ處置ス
 一キ条^約理アルモ之ヲ彼ニ商議ス^{ヘキ}事^也其^ノ他

凡ソ中外相関係スル事、件々彼此對等
 東西凶例ノ通証ヲ盡ス能ハス甚シキハ公使
 ノ喜怒ニ由テ談判モ困難ヲ受ルニ至ル抑モ對
 等國ノ政府ハ在留公使ノ不可ナルモノ如レハ公使
 ニ據テ之ヲ其本國政府ニ據ヒ還スル權ヲ有ス
 ルナルニ其事体如此ノ凌辱侵犯ニ至テハ毫モ
 對等並立ノ國權ヲ存スト云ハラス凶例互格ノ
 交際ヲナスト云ハラス故ニ痛ク其^所以^及

顧シ
 分列表セシ國體ヲ一ニシ渙散セシ國權ヲ復シ

制度法律駁雜ナル契ヲ革メ專ラ專擅拘束
 餘習ヲ^{除キ}寬^泰從簡易ノ政治ニ歸セシメ勉テ民

權ヲ復スル事ニ從事シ漸ク政令一途法律日鞏
 ニ至リ^{正ニ列國ト兼有對等スルノ基盤ヲ立ントス宜シク}
 從前ノ條約ヲ改正シ^{獨ニ事ヲ專ラ}條約ヲ改定ムル^{條約ノ}
 條約ヲ改定ムル^{條約ノ}條約ヲ改定ムル^{條約ノ}

條約ヲ改定ムル^{條約ノ}條約ヲ改定ムル^{條約ノ}
 條約ヲ改定ムル^{條約ノ}條約ヲ改定ムル^{條約ノ}
 條約ヲ改定ムル^{條約ノ}條約ヲ改定ムル^{條約ノ}

律刑法律稅法等公法ト相及月ト相及度スルモノ之ヲ改革
 改正セサルカラス之ヲ改革改正スル其方法處置
 ヲ考案セサルヘカラス之ヲ考案スルニ之ヲ實ニ際ニ
 行スル或ハ一年ヲ期シ乃至二三年ヲ期スヘキモノ
 アリテ一朝一夕ニ其事ヲ了スヘキニ非スト考案ルヲ得ス而シテ
 條約改正ノ期限某甲年五月中即午而廢テ八
 百七十年七月一日ヨリ其後ヲ始ムヘキ明文アリ
 我政府此際ニ當ツテ此事アル際ニ盛ニ其ヲ興ニス

一キ一大機會ヲ得タルモノトモトモ現況ノ
 形勢カ由リ其事ヲ督促サレ順序及時限カ切迫ニ
 及フ時ハ各國難ヲ受クルノ一大機會ニ出レリト
 云ヘシ何如トナレシ各國公使ノ此ノ改正ノ議ヲ考案スルモノ各自
 其國ノ利益ヲ網羅セント目的ハ我國ノ政
 公法ニ當ラサルヲ以テ却テ自恣ノ所志ヲ逞スル
 正大公變明ノ理ニ托シ改度法律教宗ヨリ百般
 ノ諸規則普通ノ公義及セルヲ責メ空期ノ時

限ヨリ其^{普通ノ公法}事ヲ施行スル事ト請求目之ヲ拒辞^{スハシ然ルニ事情急遽行ヒ難クスラ}

又ル時ハ其^自交換^心請求ヲナシ^終威力ノ談判ニ

涉リ其^{契害}ヲ招ク量ルヘカラス改ニ姑息ノ改正

ハ益國ノ權利ヲ失フ基トナル^{事未ニ考テ對テ}此レ改正ノ

機會困難ヲ受ルノ患アリトスル所以ナリ故ニ此ノ

困難ヲ受ル^{ツ可キ}轉^{機會}シテ盛業ヲ興スヘキトスルハ樞

機ノ一轉間ニ在リテ其^閣機^特ニ全權ノ使節ヲ

各國ニ差遣シ一ハ我改體更新ニヨリ^{更ニ}和親ヲ行馬ス

ルニ在リ

ル^ニ聘問ノ禮ヲ修メ一ニハ条约改正ニヨリ我政府

ノ目的^ハ期望スル處トテ各國政府ニ報告高議ス

ルヲ以テ^{件ヲ}此ノ報告ト高議日ハ彼ヨリ論セントスル事件ヲ我ヨリ

先發シ彼ヨリ求ル所ヲ我ヨリ彼ニ求ル所以ナレハ議論

考案トテ採リ高量^合議セハ其事ヲ實地ニ施行

スル時限ヲ^{大凡ニ}延ルノ談判ヲ整^ハ至

難ノ事ニアラサルニシ

〇其目的

申ル所有テ必ス^其諸説^ヲ考案^トテ採リ高量^合議セハ其事ヲ實地ニ施行

考案トテ

此ノ報告ト高議ハ列國公法ニ據ルハ中改革月日
且南議シ 實地ニ施行スルヲ要義トスルニ由リ其
諸州前化最盛ノ國作諸法律諸規則等實

務ニ處シテ妨ケナキヲ親見シ其公法然ルハ上
方法ヲ採リ之ヲ我國民ニ施設スル方畧ヲ備置

ノ官員且人ヲ附從シ之ニ書記
官通弁官 附屬也
シノ右全權理事ノ官負ハ之ヲ且課ニ分テ各

其主任ノ事務ヲ擔當スハシ乃チ
第一課 改度法律ノ理論ト其實際ニ行ル
處トヲ研究シ外國事務局議事法裁判

所會計局等ノ仲裁ト現ニ其事務ヲ行フ
景況トヲ親見シ之ヲ我國ニ採用シテ施設
ハキ目的ヲ立ツシ

第二課 理財見會計ニ關係スル法則租稅法
國債紙幣官民為替火災海上盜難請公

等より見^工作^社 汽車電線郵便ノ諸會社

金銀鑄造所諸工場等ノ方法規則ヲ

研究シ^{及其件裁} 現ニ行ハル、景況ヲ親見シ之ヲ我

國ニ採用シテ施設スヘキ目的ヲ立ツヘシ

第三課 各國教員ノ諸規律乃チ國民教

育ノ方法官民學校取集方費用集合ノ

法諸学科ノ順序規則及等級ヲ典ツル免

状ノ式等ヲ研究シ官民學校受易學校

諸藝術學校病院育幼院等ノ佈置及

親ニ行ハル、景況トテ親見シ之ヲ我國ニ採用

シテ施設スヘキ方法ヲ目的スヘシ

全權ノ使節及全權理事ノ官負ハ各主任ノ外我

國ノ有益ナルハキ事ハ凡テ之ヲ研究熟覽スヘキ

ハ勿論ナレハ海陸軍ノ法律及給料ノ多寡之ヲ

指揮スル之法ヲ研究シ各國有各ノ港津ニ至リ海

關ノ宜否及兵卒庫海軍局造船所兵卒化所

堡海陸軍字枚製鈔的等ヲ親見シ且教官
ノ所由ハ且取テ緊要ノ監査アリト注意スヘシ而シテ
附屬ノ書記官ハ其研究スル所ト親見スル所トヲ
精細ニ記録シ之ヲ採用シテ施設スルニ易カラシムルヲ要ト
ス(シ)

右全權使節ヲ各國ニ差遣スル大畧ナリ其委任
ノ章程及ヒ各國ノ公書全權理官官ノ職務
章程各官員其級職權ノ際限等ハ其一行

ニ係ル官員能ク其便宜ヲ量リ之ヲ考定シ
テ使節ヲ乞ヒ可ナハシ
其使節一行ノ人員ハ別紙ニ附ス

欽差全權使節一行人員

欽差王權使節 一員

同 二等使節 一員

一等書記官 一員

二等書記官 二員

二等書記官ハ會計ヲ專任スヘシ

一等通弁官 一員

二等 一員

全權理事官

六員

一等書記官

三員

二等書記官

三員

此ノ書記官中通弁ヲ能スルモノ三人ヲ要スヘシ

通弁官

三員

此弁洋学主授ノ通弁スルモノアリハ四五人ヲ

附送セシムル可ナリ

此レ人員ノ大畧ナリ而シテ使節ニ附送スル一

等書記官ハ全權理事官ト同等ナルニシ

二等書記官ハ理事官一等書記官ニ上席

タルヘシ

使節附送ノ通弁官ハ一等ハ二等書記ト同等

二等ハ理事官一等書記官ト同等ナルヲ要ス

大正官

